

クラシノコアゲ応援団県内統一街頭行動 第28弾 (9/4)

非正規労働者の賃金・処遇改善に対して「同一労働・同一賃金」、 安心・安全な社会保障制度の確立を求めて行く



福島駅東口での街頭

連合福島は、9月4日(水)に福島駅東口をはじめ県内6カ所において、約150名の構成組織参加による「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」を実施した。今回の行動は、県内主要地域で県民世論の喚起を目的に、連合福島各地域連合役員参加による統一行動と位置付け、街頭行動は既に28回を数える。

福島駅東口での街頭行動は、応援団長である今野泰連合福島会長が挨拶で、



応援団長として挨拶する今野泰連合福島会長

『企業の内部留保は過去最高水準と拡大し続けている。一方で、人件費は微増にとどまっている。過去最高の最低賃金引き上げも地域間格差の解消には至らなかった。その結果、県内の人手不足に拍車をかけ、中小企業は死活問題とさえ言われる中で、復興創生の新たな課題となっている。また、厚労省が公表した年金の財政検証では、現行水準を維持するためには、現在20歳の人々が68歳まで働かなくてはならないとされ、年金制度への不信感と将来への不安が一層高まった。さらに10月からの消費増税により、内需の縮小による景気後退が懸念される。連合福島は、非正規労働者の賃金・処遇改善に対して「同一労働・同一賃金」を求めている。

今回の街頭行動は、「同一労働同一賃金」の実効による格差是正、信頼性を基礎に、世代間の不満解消と公平性を担保した「安心・安全な社会保障制度確立」を求める』と訴えた。同時にこれら実現に向けては、政治解決の必要と重要性を強く訴えた。その上で、来たる県議会議員選挙で連合福島が支援する議員の勝利をめざすとした。

その後、国民民主党、立憲民主党、社民党所属のそれぞれの議員から、連帯と激励、そして共に取り組む決意が表明された。

【県北地域連合】JR福島駅東口「エスタビル前」 3地区から40名



左から、亀岡義尚・大場秀樹・高橋秀樹・紺野長人各県議会議員、福島・成田威文、二本松安達・高橋誉、伊達・高橋誠一各議長、佐久間通県労協事務局長

(裏に続く)

(表より続く)

【県中地域連合】 JR郡山駅西口広場 4地区から50名



左から、安藤和彦県中地域連合議長、加藤光一連合福島事務局長、佐久間俊男県議会議員、飛田義昭社民党郡山支部代表



左から、須賀川・鈴木重一、石川・渡辺孝男、田村・白岩進一郎各議長、労福協・菅野幸男事務局次長

【県南地域連合】 JR白河駅前広場 10名



左から、三村博隆県議会議員、畠山史信県南地域連合議長、白河・藤田隆司議長代理、白河・北畠浩二副議長

【会津地域連合】 会津若松市神明神社前 19名



左から、石井陽一会津地域連合議長、渡部優生県議会議員、村澤智・高梨浩会津若松市議会議員



左から、譲矢隆・丸山さよ子・松崎新会津若松市議会議員、遠藤章会津若松地区労福協副会長

【いわき地区連合】 JRいわき郡山駅前 22名



左から、新妻浩いわき地域連合議長、鳥居作弥・古市三久県議会議員、狩野光昭社民党いわき・双葉地区幹事長、上壁充・大友康夫いわき市議会議員



左から、坂本稔いわき市議会議員、いわき地区鈴木充副議長・稲川昌浩副議長・小林光宏事務局次長・松本智和事務局次長、佐久間正則いわき地区労福協事務局次長

【相双地域連合】 南相馬市・南町ヨークベニマル前 11名



左から、白坂陽一郎相双地域連合議長、高野光二県議会議員、市民の皆さんヘティッシュを配る